

本所今昔物語 本所と水(2)

本所堤(1)

本所堤の存在については12月号で述べました。刈谷田川から取水できないために本所地域などではその代替水源として山からの湧水を溜める「本所堤」を造った訳です。

見附市史などを調べたもののこれについて詳しい記録が見つからず、唯一あるものが朝日野宮神社境内にある「本所堤開田記念碑」です。



朝日野宮神社境内にある「本所堤開田記念碑」

石碑に刻まれた文字は磨滅して読みにくいですが、『見附文化財散歩』「No.2日野宮」によれば下記ようになります。◎は原文、※解説したものです。

◎享保12年 本所堤成る※1727年に本所堤が造られる
◎大正5年 耕地整理※1916年に本所地域の耕地整理実施

◎昭和2年 昭和江竣工

※1927年に刈谷田川から用水を引いた

◎昭和12年 本所堤開田

※1937年に堤を埋めて田圃にした

◎昭和23年 農地解放

※1948年に農地解放される

◎昭和26年 見附中学校敷地成る

※1951年に本所堤を含めた田圃を埋めて中学校の用地に提供された

石碑の裏には石碑建設に関わったと思われる人達の名前が刻まれているようですがやはり磨滅が酷く目視では読むことは出来ませんでした。『文化財散歩』によれば昔は銅板が貼り付けてあったようですが現在行方が分かりません。恐らく銅板の方は磨滅が無く文面が読めたのではと残念に思います。

本所堤は昭和2年に昭和江が完成したことで役割を終え、昭和12年に埋め立てられて田んぼに変わり、昭和26年には見附中学校の敷地になりました。更に見附中学校は学区再編成などがあって平成元年9月に島切窪町に移転、その跡地は「見附市医療福祉の里」として見附市民の重要な施設になりました。

本所堤の変遷には本所住民として感慨深いものがあります。

町内の70歳以上の方にお聞きすると見附中学校時代に「堤は無くなったものの大きな池があって筏を浮かべて遊んだ思い出がある。」筆者の推測では堤の埋め残しがあったのではないかと思います。

本所人(ほんじょじん) 齋藤悦美 さん

今回の本所人は5区在住で4年前から自宅で「珈琲味覚研究所」を運営されている齋藤悦美(さいとう えつみ)さんです。

齋藤さんは新町(旧渡里町)出身の69歳。本所住民歴30年です。長年UCC上島珈琲株式会社に勤務され、定年退職後別の会社勤務を経た後住宅庭に研究所を開設され珈琲を広めるための取り組み(市内外で講習会開催)を実践しておられます。



なぜこの事業を始められたのですか?「コーヒーの本当の美味しさを知ってもらいたくて始めました」「勤めていたときは販売やマネージメントが中心で技術的なことは経験していなかったのですが、一念発起して研修を受けて資格を取得しました」。

「研究所」という名前に少しビックリしたのですが?「販売(商売)が目的ではなく美味しいコーヒーを広めることだからです」。

美味しいコーヒーを飲むには?「一番は焙煎から時間が経っていない豆を入手することです、時間が経つ程に香りも味も落ち、コーヒーにお湯を注いでもふっくらとした状態になりませんので分ります。ですから研究所では焙煎から1週間以上経過した豆は販売しません」。

幟旗が出ているときは「営業中」です。豆の販売の他コーヒーについて語り合ったり、無料の試飲も用意されていますので気軽にお立ち寄り頂きたいそうです。



表紙写真

『北帰行』、3月17日新潟小付近の水田でシベリアへの飛行準備をする白鳥です。ウクライナ侵攻、ロシア制裁、飛行禁止空域など人間界の都合に関係なく自然のままです。村松藩時代、本所村と新潟村は「本所組」と言って一つの行政区域、広義の意味で白鳥のいる場所も本所ですかね。

発行元

新潟県見附市「本所1丁目町内会」
担当 野水英男 Tel.62-1542

かたくり 町内会だより
本所1丁目2022年
(令和4年)

4月号

- 2P 町内会長あいさつ
新年度重点事業
町内会総会の中止について
町内会役員を公募します
クリーン作戦実施
ゴルフ大会を開催します」
- 新区長紹介
- 3P 新年度役員構成
- 4P 本所今昔物語
本所人

町内会長あいさつ

令和4年度が始まります。今年こそ、コロナ感染が収まり、社会が落ち着き、新しい生活が始まることを祈ります。また、世界の平和がこの地球に住む者にとってどれほど大切か、それぞれの国民が常に心に留めておくべきことでしょう。この街も、高齢者の一人・二人世帯が増える一方で、新しくこの街に住まわれる方も増えてい

ます。自分たちの住む地をいかに快適なものにしていくか？それは、住民の一人一人が考え、自分のことから始めることだと思います。みんなで明るく住みよい「本所1丁目」にしていきましょう

町内会長
佐野守利



新年度重点事業

令和4年度は次の事業に重点をおいて活動します。

- (1)スマイルコミュニティ活動への協力
- (2)自主防災組織の運営
- (3)防犯灯及びゴミステーション等ハード面の整備
- (4)スマイルコミュニティと連携したクリーン作戦による環境美化
- (5)スマイルコミュニティと連携した認知症予防の取り組み
- (6)本所会館の活用
- (7)町内関係団体の自主活動への助成
- (8)「防災教育事業」及び「世代間交流事業」への支援
- (9)朝日野宮神社祭礼協賛ランタン祭り及び子どもまつりの実施
- (10)広報・広聴活動の充実

町内会総会の中止について

コロナ感染の終息が見えない中、3月13日の役員会において令和4年度の総会実施について審議した結果、今年も昨年同様に総会は開かず「区長・班長」による書面議決によることに決定いたしました。書面議決の結果につきましては次号の『かたくり』でお知らせいたします。

町内会役員を公募します

「地域に貢献したい」、とお考えの方は多く居られると思います、ただ「中々機会がない」と。本所1丁目町内会では三役(会長・副会長)を公募いたします。現三役の在任期間が三期9年を超えることから、そろそろ次代の人材から新しい本所1丁目町内会を運営して頂きたいと考えております。性別、年齢、本所での居住年数などは問いません。真に本所の将来を考え行動出来る方を歓迎いたします。関心をお持ちの方は会長・副会長又は広報担当までご一報下さい。なお、任期の開始は令和5年4月を予定しておりますが4年度途中からでも各自の

ご都合に合わせてと思います。佐野会長(080-1037-8654)吉岡副会長(63-0389)星野副会長(62-4569)野水広報担当(62-1542)

クリーン作戦実施

昨年は残念ながら中止となりましたが、今年は実施いたします。既に回覧板で参加者募集を行いました。4月10日(日)午前8時 本所会館集合

ゴルフ大会を開催します

町内会主催のゴルフ大会を下記により開催します。詳細は幹事まで問い合わせ下さい。期日 6月5日(日)、場所 下田城カントリークラブ ※継続して参加されている方には直接案内いたします。幹事 岡田能隆(63-1962)、渡辺茂雄(63-1821)柴嶺哲(62-1874)

新区長紹介

令和4年度の新区長さんを紹介いたします。今年度一年間地区で皆さんの相談相手になったり、市や町内会との橋渡し役を担う人達です。よろしく願いいたします。①区長としての方針 ②趣味など(敬称略)

①沈静化しない新型コロナで各種行事、交流の機会が減少状況ですが、活力ある住みよい町内づくりに微力ながら頑張ります。②DIYが好きで、何かを作っています。



1区
伊藤 幸夫

①感染力が強いオミクロン株が出てきて、皆で気をつけながら1年間無事に役員が出来れば良いと思います。②春は山菜採り、夏は海釣り、冬はスキー、旅行でグルメを食べる事が好きです。



2区
五十嵐 定美

①三年目となる新型コロナ禍、落ち着きも定まらず心配のなか、区町内の安心と安全為、ご協力を頂ながら務めさせて頂きたいと思ひます。②野菜作り、庭木の手入れ、ゴルフは上達が見えないけれど楽しんでます。



3区
須佐 栄二

①出来る範囲で自粛する中、粛々と諸行事に取り組んでいきたいと思ひます。どうぞ宜しくご協力をお願い致します。仕事や他役員を兼務し健康に留意するなかで、一年間区長を務めさせて頂きます。



4区
佐田 太一

①何事も初心者ですが、皆様のご協力を頂ながら一年間頑張りたいと思ひます。よろしく願いいたします。②毎年山菜採りを楽しんでいましたが、怪我のためそれも儘なくなりました。



5区
長南 良也

①町内会のあり方が注目されています、また人口減少問題もあります。このような状況のもと住民と行政との協力が必要ではないかと思ひます。②定年少し前から健康の為にと思い卓球を始めました。今は人の迷惑にならないように日々努力しています。家庭菜園もまた楽しいものです。



6区
佐藤 忠

新年度役員構成

役職名		氏名
会長兼会館長		佐野 守利
副会長兼会計		吉岡 道夫
町内事務		星野 明洋
参与(防火管理者)		久保 正巳
1区	区長(市嘱託員)	伊藤 幸夫
	副区長	高山 健司
2区	区長(市嘱託員)	五十嵐定美
	副区長	島 正文
3区	区長(市嘱託員)	須佐 栄二
	副区長	齋藤 忍
4区	区長(市嘱託員)	佐田 太一
	副区長	間島 正
5区	区長(市嘱託員)	長南 良也
	副区長	五十嵐一浩
6区	区長(市嘱託員)	佐藤 忠
	副区長	矢島 徳男
参与(新和会会長)		久保 正巳
参与(A班子ども会会長)		棚村香菜子
参与(B班子ども会会長)		山井 忠
参与(消防団)		小林 泰仁
監事		小林 英明
監事(農家組合長)		西澤 久博